

事業所名

児童発達にじにわKids

支援プログラム

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念		全員が笑顔になれるような支援体制づくりと、安心・安全の場所づくりを行い、質の高いサービスを提供できるように目指します。					
支援方針		5領域に即した支援を行い、子どもの安心できる環境づくりを行い、基本的な生活習慣の形成や土台の力を築くための支援を行います。本人の「出来ること」を増やすことで、学齢時に向けて取り組みへの円滑さを高め、スムーズに移行できるように努めます。					
営業時間		10時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
対象児		単位1（小集団）		単位2（学習）		単位3（運動）	
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。		学習支援教材を使用して睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。		ICT器材を使用して基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。	
	運動・感覚	子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。感覚遊びや識別訓練などの課題を通じて正しくできるよう増やすように支援していきます。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活に必要なスキルの向上を目指します。		学習支援教材を使用して安心して活動できる環境を整えます。感覚遊びや識別訓練などの課題を通じて正しくできるよう増やすように支援していきます。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活に必要なスキルの向上を目指します。		ICT器材を使用して感覚遊びや識別訓練などの課題を通じて正しくできるよう増やすように支援していきます。粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚た姿勢保持を養う活動を行います。	
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。 (アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します)		学習支援教材を使用して読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。 (アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します)		ICT器材を使用して聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。 (アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します)	
	言語 コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。 発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。		学習支援教材を使用して視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。 発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。		ICT器材を使用して視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。	
	人間関係 社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。		学習支援教材を使用して、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。		ICT器材を使用して、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。	
家族支援		家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や自宅訪問を通じて課題を共有し、家庭で実践しやすいホームプログラムを提案します。加えて、日々の取り組みを支える相談援助を行い、家庭全体で連携しやすいサポート体制を整えます。			移行支援		保育園や幼稚園の先生や他施設に対し、子どものアセスメント結果や個別支援計画書など支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。
地域支援・地域連携		・地域のイベントへ参加 ・各種関係機関(保育園、幼稚園、相談員、児童相談所)との連携を図る			職員の質の向上		・事業所内研修会 ・外部研修会への参加 ・随時スタッフの悩み相談のサポート体制 ・カンファレンス
主な行事等		・外出訓練、避難訓練 ・保護者向けサロン&研修会（28cafe） ・保護者参加型イベント					